

# 図書館便り 12月号

2013年12月13日発行

阿波高校図書委員会

今月の図書館便りは2年生の図書委員が担当しました。

先生や図書委員おすすめの本を参考に、この冬休み、大いに図書館を利用してください。

## 先生この一冊

今月は阿部正秀先生（理科）のおすすめ本を紹介します。

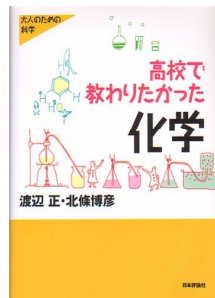


### シリーズ大人のための科学「高校で教わりたかった化学」

渡辺正・北條博彦 著 日本評論社

化学の参考書には、「参考」や「発展」として枠に囲まれた話題がたくさん挿入されています。授業では取り上げずに済ませてしまうこともありますが、もしかすると、教科書の著者が本当に伝えたいのは、ここにある内容かもしれません。この本は、それらを集めたような内容です。

「教科書の著者が本当に伝えたかったこと」……どうですか？（阿部 正秀）



## 図書委員のおすすめ

### レインツリーの国

有川 浩 著 新潮社

この本は、共通のSF小説を好きになった二人がメールのやり取りをとおして絆を深めていく恋愛小説です。登場人物の女性は難聴者で、それがきっかけですれ違ったり分かり合ったりと、私たちの難聴者に対しての気遣いを見直さなければいけないと感じる本です。「図書館戦争シリーズ」の中でも紹介されている本なので、ぜひ読んでみてください。

(22HR 前田 希望)



### エンデ全集 はてしない物語

ミヒヤエル・エンデ 著 岩波書店

この本は、ちょっと変わったファンタジーです。主人公が盗んだ本を読み始めるところから物語は始まります。主人公と本の中のもう一人の主人公の感覚がリンクしている場面を読んでいると、自分も何だか不思議な感じがしてきます。ちょっと変わった物語を読みたい人におすすめです。

(24HR 新居 遥)



## あったかくなる本特集

寒～い冬は「こたつにみかん」ならぬ「こたつで読書」しませんか？ 心も体もあったかくなるはず。

### 風が強く吹いている

三浦しをん 著 新潮社



「俺たち10人で頂点を取る」個性派ばかりの素人たちが箱根駅伝という大きな夢へと突き進む。襷をつないでいくことで仲間と仲間がつながっていく。そして奇跡が起こる……。

仲間を信じて懸命に走り続ける彼らの姿に心を

熱くさせられます。笑えて、泣けて、心温まる最高におもしろい一冊です。

(25HR 北尾 龍希)

### やれば、できる。

小柴昌俊 著 新潮文庫



この本は2002年にノーベル物理学賞を受賞した小柴昌俊さんが書いた本です。ですが、難しい科学の説明はほとんどなく、著者の自伝的な作品となっています。

どんなに困難に

陥ってもまっすぐに目標に向かっていく著者のひたむきな姿勢に心が温まります。(25HR 落窪 勇希)

## 冬休み中の開館日

月	火	水	木	金
	12/24	25	26	27
	1/6	7		

開館日を表示

※開館日は変更になることがあります。

●開館時間 8:30～17:00

●貸出冊数 10冊

●返却期限 1月8日（始業式）

（12月16日～12月24日に借りたもの。

それ以後は、通常通り2週間。）



イラスト：23HR 佐藤 史織